

居住支援シンポジウム

～市町村居住支援協議会を考える～

鹿児島

社会全体が一体となり、それぞれの地域できめ細やかな居住支援体制を築くため、市町村単位での居住支援協議会の設立が課題となっています。

全国の取組みに学びつつ、鹿児島の市町村居住支援協議会の必要性についてともに考えましょう。

2022.11.10〔木〕
13:30～16:45

会 場：鹿児島県サンロイヤルホテル
1階 エトワール
※YouTube によるオンライン受講も可

参加費：**無料**（来場定員 80 名）

基調講演講師



日本大学文理学部
社会福祉学科 教授

白川 泰之 氏

社会保障の法制度、居住支援政策が専門。
1995年東京大学法学部卒業。同年、旧・厚生省入省。
老人保健福祉局、保健医療局、大臣官房総務課、年金局、
社会・援護局、三条市介護保険準備班、大分県高齢者
福祉課長、新潟大学法学部准教授、東北大学公共政策
大学院副院長・教授などを経て現職。

カリキュラム（予定）

13:30 ～ 13:35	開会 あいさつ
13:35 ～ 14:35	基調講演 「市町村における居住支援の背景と基本的視点」 ・白川 泰之氏（日本大学文理学部社会福祉学科 教授）
14:35 ～ 15:15	「居住支援協議会設立の背景と取組について」 ①大牟田市居住支援協議会 ②竹田市居住支援協議会
15:15 ～ 15:25	休憩
15:25 ～ 15:45	「居住支援協議会設立に向けた取組について」 ・奄美市総務部プロジェクト推進課
15:45 ～ 16:45	パネルディスカッション 「市町村居住支援協議会の必要性」 ●コーディネーター ・白川 泰之氏（日本大学文理学部社会福祉学科 教授） ●パネリスト ・大牟田市居住支援協議会 ・竹田市居住支援協議会 ・奄美市総務部プロジェクト推進課
16:45	閉会

新型コロナウイルスに関するお願い

新型コロナ感染対策のため、本シンポジウムは来場とオンライン受講によるハイブリッド開催といたします。
来場を希望される方は、マスク着用や手指消毒、検温などの感染防止対策にご協力ください。

お問い合わせ先：鹿児島県居住支援協議会 ☎099-224-4543

申込方法

FAX またはメールでお申し込みください。

FAX:099-226-3963

メール:kikaku@kjc.or.jp

鹿児島県居住支援協議会

事務局 (公財) 鹿児島県住宅・建築総合センター 企画課 行

申込締切 令和4年11月8日(火)

※但し、来場参加の場合は、定員(80名)になり次第、締め切ります。

交通アクセス

鹿児島サンロイヤルホテル
〒890-8581

鹿児島市与次郎 1-8-10

バス:「与次郎1丁目」又は
「市民文化ホール北口」
市電:「騎射場」又は「荒田八幡」
駅から徒歩15分

※会場の駐車場には限りがあります
ので、できる限り公共交通機関を
ご利用ください。

申込記入欄

ふりがな		会社名		参加人数 (会場)	名
代表者 氏名					
職種	行政(福祉部局)・行政(建築部局) 不動産関係・医療福祉関係・その他一般 ※該当項目に○をしてください。	TEL () FAX ()	YouTube 受講人数		名
YouTube 受講用メールアドレス※					

※YouTubeでのオンライン受講を希望される方は、メールアドレスを必ず記入してください。